

くらき永田保育園便り



5月の予定		
1	土	
2	日	布団乾燥
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	
7	金	
8	土	布団乾燥
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	クラス懇談会
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	久保先生のわらべうた
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	内科健診
27	木	いきいき組 公園苗植え
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

平成14年に保育園が設立され20年目の春を迎えています。開園当初はおもちゃもない、保育の知識もない、技術もない・・・あるのは熱意だけといった状況でのスタートでした。数えきれないほどの失敗などもありましたが、保護者や地域の皆さんの温かい支援やフォローのお陰で今日を迎えられているのだと思っています。

また、今では保育業界で使う「ゴスイ（午睡）」や「ヨヤク（与薬）」といった独特の言葉にもすっかりと慣れ、当たり前のように使っている自分に驚いたりもしています。一方、いまだに違和感を持つてしまうのが「いやいや期」や「お慣らし保育」といった業界言葉です。

これらは大人側からの視点で作られている言葉のため、子どもが主体になっていません。子どもの表面的な姿だけを見て“反抗している”とか“大人のいう事を聞かない”とか“わがまま”な行動を「いやいや期」としてはいますが、子どもの立場に立ってみれば、「出来ること」が増え、そのことで大好きなパパやママ、保育士から褒められたりするのが嬉しくてたまらなかった日から、突然「自分が出来ること」と「自分がやりたい事」が違うという感情が現れ、そのことで「嫌だ」「わからない」「僕が欲しているのはそれじゃない」などと言った感情が沸き上がってきます。語彙数が少ない子どもにとっては「ヤダ」という表現になってしまうのかもしれませんが「自分」を見つけ出すための大切な時期だといえるでしょう。他人の願望に合わせるのではなく、自分の本当の気持ちに従って行動するための練習を頑張っているのだな～と思うと子どもたちの「イヤイヤ」も今までと違って見えるのではないのでしょうか？

5月15日（土）の懇談会の参加希望者は現時点で9割を超えているようです。全国には2万以上の保育園がありますが、毎年これだけ保育に興味関心をもってくれる家庭の多い保育園はなかなかありません。当日は入園、進級してからの子どもたちの生活の様子を動画で見てもらったりしながら懇談を進める予定です。今回は密を避けるために分散型の実施となり、ご迷惑をおかけしますが、貴重な情報交換の場として「密な時間」を過ごしたいと思っています。また、懇談会の時間内に一部の保護者に人気？の「園長による保育計画2021」をお伝えする時間をとることができませんでした。さらに最近は「園長ブログ」の更新回数が激減しているとお叱りも受けております。そこで、園長からの宣言です。5月から園長ブログ“遊びをせんとや生まれけむ”で、くらき永田保育園で起こる様々な出来事などを園長目線で伝えていきたいと思っています。

現況届提出のお願い

各家庭の保育要件を決定するために現況届により保育必要量を確認することになります。提出がない場合は保育の必要性が確認できず給付認定が取り消されることもありますので5月中旬くらいまでに事務所まで提出をお願いします。ご不明な点がございましたら区役所、または事務所にご相談ください。

遊言育係：「わらべうたを楽しもう」

くらき永田保育園では、開園当初よりわらべうたに親しんでいます。

わらべうたの魅力は…

- ・大人と子ども、子ども同士などでコミュニケーションがとれ、絆が深まる
 - ・楽しみながら言葉や数を覚えられる
 - ・運動能力、リズム感を高められる
 - ・生活の中で使う言葉や動きが出てくるので、遊びながら生活の基本が学べる
 - ・集団行動の決まりを経験できる
 - ・音域が狭く音の跳躍も少ない為、子どもが歌いやすい
 - ・生歌で聞く力が育つ
- など、たくさんあります。



わらべうたの特徴は…

いつでも、どこでもできること！

メリットがこんなにたくさんあって、いつでもすぐにできる手軽なわらべうたをご家庭でも楽しんでみてください。

*保育園のホームページに動画が載っていますので是非ご覧ください。

また、素敵な歌声でわらべうたを教えてくれる久保千草先生が月に一度来園し、クラス毎にわらべうたを楽しみます。全クラス共通のわらべうたは、始まりの『ととけっこー』と終わりの『さよならあんころもち』です。

お誕生月には『ととけっこー』に名前を入れて歌って祝ってもらえるので、嬉しそうにしています。

職員も久保先生にわらべうたを教してもらい、言葉の響きや拍を感じて子どもたちと素敵な時間を作りたいと思っています。

クラスの様子をお伝えします！

にこにこ

ついに始まりました！保育園生活。保護者の皆さんはドキドキハラハラのスタートだったのではないのでしょうか。子どもたちも初めての場所・人に不安を感じながらも、一生懸命泣いたり周りを見たりして環境に適応していこうとする姿が見られました。保育者もどんな抱き方が安心できるのか？眠くなるタイミングは？子どもたちの出してくれるサインの意味は？と色々考え試行錯誤しながら過ごしています。一人ひとりの生活リズムが分かってきたことで、機嫌良く過ごせる時間も徐々に延び、玩具で遊ぶ姿や保育者との関わりを楽しむ姿も増えてきました。安心できる環境ができると、次は周囲に目が向き始めます。子どもたちがこれから体験するモノやコトとの出会いを一緒に楽しんでいきたいと思えます。子どもの姿を保護者の皆さんと共有することも楽しみにしています！1年間どうぞよろしくお願いいたします。

のびのび

楽しいことが大好きなのびのびさん。園庭に出る時間も長くなり、「みててー！」と遊具で遊ぶ姿や「おいかけっこしよー」と元気に体を動かす姿が！砂場ではお友達と協力しながら山を作り、その周りに水を流し「かわだよー」と見立ても変わってきました。そして最も興味を示していることが“虫探し”！「ありたよー」「だんごむしだ！」「みせてー」と大盛り上がり！手の平に乗せたりお碗に入れたり観察の仕方は様々です。お友だちと一緒に探し、見つかる嬉しさ倍増です！



よちよち

よちよち組になって一ヶ月が経ちました。初めは新しい環境で泣いたり抱っこを求めたりしてドキドキした気持ちを伝えてくれました。子どもたちにとって担任が替わることは不安がいっぱい…でも「ドキドキしちゃうね」「泣きたくなっちゃうね」と気持ちを受け止めてもらったり、嬉しい気持ちを一緒に感じた分保育士にも慣れてきて、自分らしさを見せてくれる姿が増えてきました。（心を開いてくれた時の笑顔が堪らない担任です）そんなよちよち組の子どもたちと過ごす一年のテーマのひとつは『意欲』です。身体の動きが活発になって、興味のあるところへどんどん向かっていくこの時期。「これはなあに？」「さわってみたい」と全身で身の回りの物に関わっていくパワーを目一杯出せるような環境や関わりを大切にしていきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

わくわく

わくわく組では夏に向けて夏野菜の苗を植えたことを紹介します！苗を目の前にして、興味津々の子どもたち。中には「これ見たことある！」と声を上げる姿も見られました。それもそのはず、この苗はすくすく組の時に育てたミニトマトの仲間、トマトの苗だからです！苗を植えると、「水やりをしなきゃ」とジョウロを持って来て早速水やりをしていました。これから大きくなるのが楽しみです♪



すくすく

すくすく組になり、一ヶ月がたちました。初めから楽しむ子、新しい環境に少しずつ慣れていく子など様々でしたが、お父さんお母さんと別れた後は好きな遊びを見つけて元気いっぱい過ごしています。最近、過ごしやすい気候も続いて戸外遊びが楽しそう。「気持ちいいね～」と人工芝の上を寝転んで見たり、乳児の森では虫を探すと意気込んで、虫がいそうな場所を探し回ったりしています。見つけた虫は、つぶれないよう指先でそとつまんで容器に入れて観察しますが、手のひらに乗せて動き回る様子を楽しむお友だちも増えてきました。室内遊びでは、少し難しい形のパズルを完成させて喜ぶお友だちも多いです。

すくすく組の一年間は、子どもたちのやってみようという気持ちに寄り添い、大人も一緒に楽しみながら今まで以上に遊びの世界を広げていきたいなと思っています。

いきいき

保育園で一番年上のいきいき組！戸外に出る時には、のびのび組の手を引いて遊びに行くなど年上の自覚を持ち始めています。今、クラスでは一日に一人だけカメラマンになって、その子が興味を持って見た物を写真に撮り楽しんでいます。そこから、たくさんの事に興味関心を広げてほしいと思っています。写真は手作りのフォトフレームに入れて飾ります。『いきいきしゃんかん』は随時更新します。お楽しみに！
保育園生活ラスト1年間、どうぞ宜しくお願いします。



給食室から

新しいクラスになり、一ヶ月が経ちました。少しずつ、保育園の給食にも慣れてくれているのでしょうか・・・？

今年は、給食室の職員に興味を持ちたり、給食やおやつのことを聞いてきたり・・・と、給食やおやつ後に、話しかけに来てくれる子がとても多く、給食室職員も、日々子どもたちとの話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごしています。

毎朝、お当番活動で、異年齢の子どもたちが今日の給食とおやつを聞きに給食室にやってきます。

メニューに使われている材料を貼った「食育ボード」を見ながら、「これきらい！でもこれはすきー！」とか「これ、うちでもきのうたべたよ！」など、好き嫌いを教えてくれたり、おうちでの様子を話してくれる子もいて、子どもたちの生の声が聞ける、とても貴重な時間です。

乳児クラスの子もたちは、雨の日に、給食室までお散歩に来てくれ、ドアにべったりと張り付いて中の様子を見ていきます。その日のデザートのお菓子を目の前まで持って行ってあげると、みんな嬉しそうな笑顔を見せてくれます。この時間もまた、私たちにとって貴重な関わりです。

今後も、子どもたちにとってはもちろん、保護者の皆さんにとっても、身近な給食室になれるよう、様々な場面で、関わりを持っていただけたら・・・と考えています。よろしくお願いいたします！